SDGsの達成に向けた重点的な取組み宣言書

作成日: 令和5年8月8日

事業者名: 株式会社 片岡ケース製作所 月光工房

三側面	SDGsの達成に向けた重点的な取組み		関連するSDGsゴール (最大3つ)	実績	指標·目標	
	蓄光の廃材で困っている会社より廃材を譲り受け、その廃材を利用して商品製造を行っている。また、自社で出た蓄光廃材も処分することなく、地元のハンドメイド作家さんに渡して商品や作品を作成頂いている。 箱を製造する際も、SFC認証紙等の使用を積極的行っている。 グラスを製造する際も国内メーカーのカレットが配合されたグラスを積極的に選択して加工を行っている。			蓄光廃材を使用した商品を今 年になって、4種増やした。	指標	自社で出る蓄光廃材使用率と他社 で出た蓄光廃材使用率
環境					目標	R7年度までに50%
	多治見西高等学校の工場見学 多治見西高等学校美術部生徒による作品作り		⑧働きがいも経済成長も , ⑨産業と技術革新の基 盤をつくろう, ④質の高 い教育をみんなに	今年より開始	指標	工場見学とグラス作り体験数
社会					目標	R7年度までにもう1校
	地元ハンドメイド作家さんに蓄光廃材を渡して、商品や作品を作成依頼。 それにより地元作家さんの知名度も上がり、 マルシェ等で販売。		⑧働きがいも経済成長も ,⑫つくる責任 つかう責 任,⑨産業と技術革新の 基盤をつくろう	今年より2名のハンドメイド	指標	地元作家さん人数
経済					目標	R7年度までに5名
	チェック ☑	SDGsの達成に向けた重点的な取組みが従業員に共有されており、かつ達成するための仕組みが組織内に構築されている(PDCAサイクル等)。 <具体的な内容を記載>				
ガバナンス		蓄光廃材を積極的に使用するように工房スタッフに伝えている。 また、社内でも紙類と他の廃材の分別を徹底し、紙類は必ず契約している古紙回収業者に毎週引き取ってリサイクルに出している。				
		SDGsの達成に向けた重点的な取組みをホームページ等で対外的に公表している。 昨年SDGs商品でクラウドファンディングに挑戦した。 引き続きそれらの商品開発を進めている。				